

## 【詳細結果(平成19年4～6月期平均)】

[就業者]

### 1 雇用形態別の構成

役員を除く雇用者は5215万人と、前年同期に比べ114万人の増加となった。このうち、正規の職員・従業員は3483万人と、29万人の増加となり、6期連続の増加となった。また、パート・アルバイト、派遣社員、契約社員等の非正規の職員・従業員は1731万人と、84万人の増加となった。

役員を除く雇用者に占める非正規の職員・従業員の割合は33.2%と、前年同期に比べ0.9ポイントの上昇となった。これを男女別にみると、男性は18.0%、女性は53.1%と、男性は1.1ポイントの上昇、女性は0.6ポイントの上昇となった。

図1 「正規の職員・従業員」・「非正規の職員・従業員」の対前年同期増減  
及び「非正規の職員・従業員」の割合

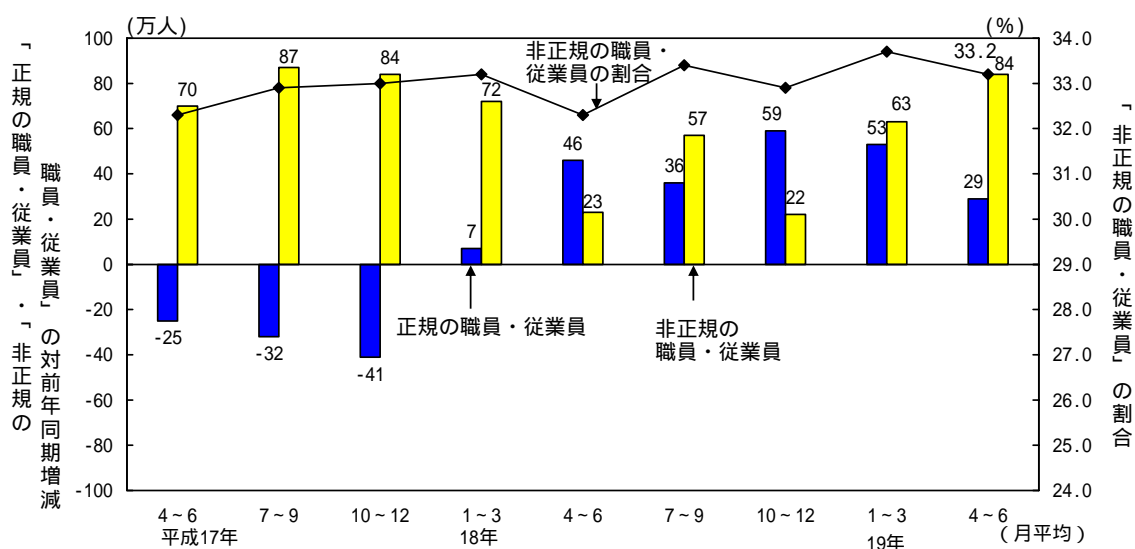


表1 雇用形態別就業者

		平成17年				平成18年				平成19年	
		1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
実数 (万人)	就業者	6236	6389	6405	6344	6270	6405	6413	6388	6301	6468
	雇用者	5324	5433	5431	5442	5393	5507	5504	5520	5521	5600
	役員を除く雇用者	4923	5032	5021	5053	5002	5101	5115	5132	5120	5215
	正規の職員・従業員	3333	3408	3372	3384	3340	3454	3408	3443	3393	3483
	非正規の職員・従業員	1591	1624	1650	1669	1663	1647	1707	1691	1726	1731
(非正規の職員・従業員の割合)											
割合 (%)	男女計	32.3	32.3	32.9	33.0	33.2	32.3	33.4	32.9	33.7	33.2
	男	17.8	17.5	17.7	17.8	18.5	16.9	18.5	17.8	18.4	18.0
	女	51.8	52.0	52.9	53.4	52.9	52.5	52.9	52.8	54.1	53.1
対前年同期増減 (ポイント)	男女計	0.8	1.1	1.4	1.4	0.9	0.0	0.5	-0.1	0.5	0.9
	男	1.8	1.3	1.4	0.9	0.7	-0.6	0.8	0.0	-0.1	1.1
	女	-0.8	0.9	1.3	1.9	1.1	0.5	0.0	-0.6	1.2	0.6

(注) 割合は、内訳の合計に対するものである。

非正規の職員・従業員は、パート・アルバイト、労働者派遣事業所の派遣社員、契約社員・嘱託及び「その他」の合計

## 2 転職者

転職者（就業者のうち前職のある者で、過去1年間に離職を経験した者）は354万人と、前年同期に比べ6万人の増加となった。これを男女別にみると、男性は172万人、女性は182万人となっており、それぞれ5万人、1万人の増加となった。

就業者に占める転職者の割合（転職者比率）を男女、年齢階級別にみると、男女ともに15～24歳が最も高くなった。また、45～54歳以下の各年齢階級で、女性が男性より高くなった。

図2 男女別転職者の対前年同期増減

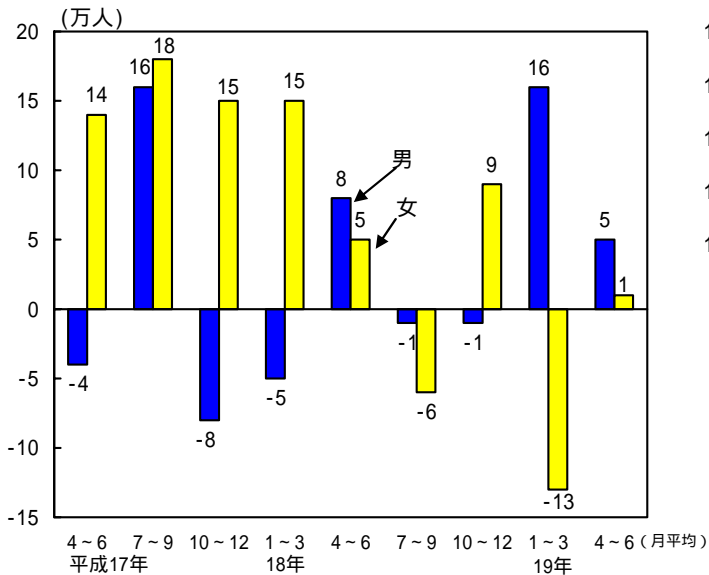
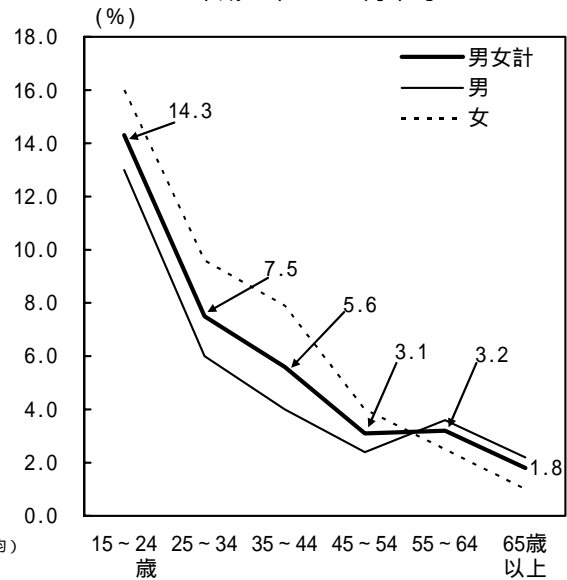


図3 男女、年齢階級別転職者比率

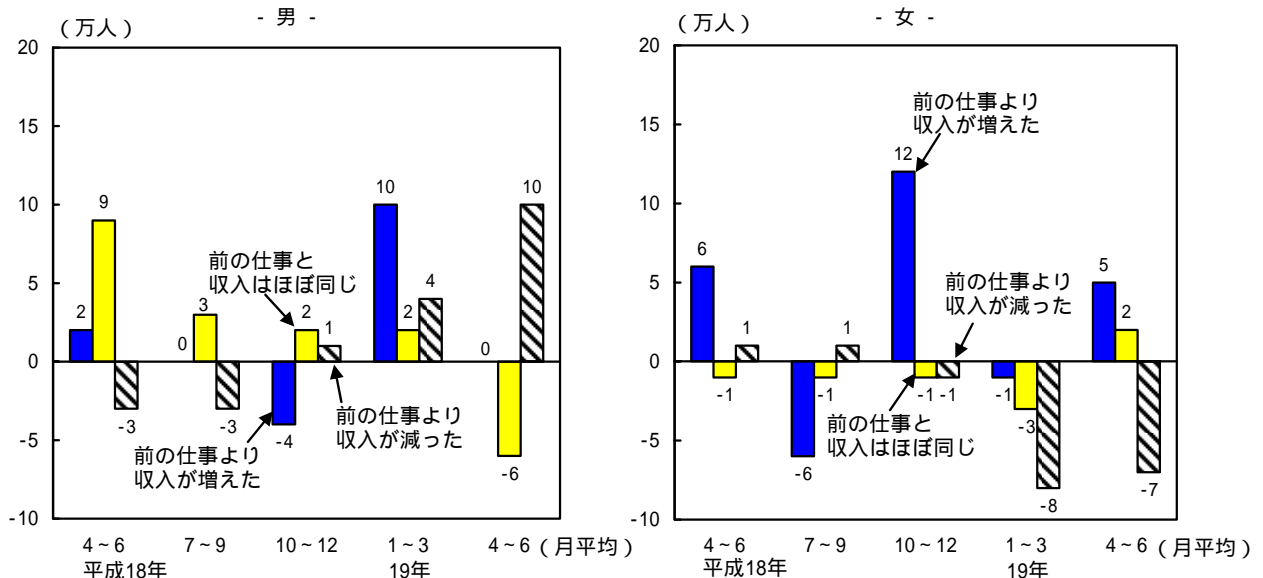
- 平成19年4～6月平均 -



転職者のうち、転職により「前の仕事より収入が増えた」（以下「収入増」という。）は124万人、「前の仕事より収入が減った」（以下「収入減」という。）は128万人となっており、前年同期に比べ、収入増は5万人の増加、収入減は3万人の増加となった。

これを男女別にみると、収入増は男性が51万人、女性が73万人となっており、前年同期に比べ、男性は前年同期と同数、女性は5万人の増加となった。また、収入減は男性が70万人、女性が58万人となっており、男性は10万人の増加、女性は7万人の減少となった。

図4 男女、収入の増減別転職者の対前年同期増減



## [完全失業者]

### 1 失業期間

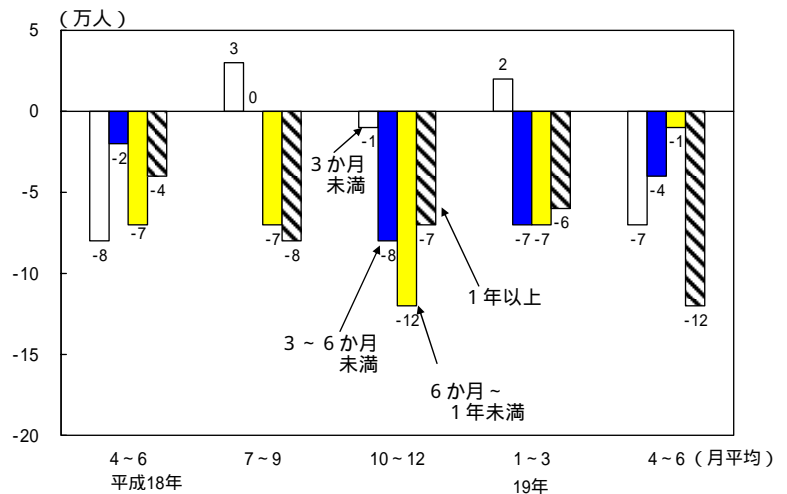
完全失業者は256万人と、前年同期に比べ24万人の減少となった。これを失業期間別にみると、「3か月未満」が106万人と最も多く、次いで「1年以上」が77万人となった。

前年同期と比べると、「3か月未満」は7万人の減少、「3～6か月未満」は4万人の減少、「6か月～1年未満」は1万人の減少、「1年以上」は12万人の減少となった。また、割合でみると、「3～6か月未満」及び「1年以上」はそれぞれ0.2ポイント、1.6ポイントの低下となった。

表2 失業期間別完全失業者

平成19年 4～6月平均	男女計			
	実数 (万人)	対前年 同期増減 (万人)	割合 (%)	対前年 同期増減 (ポイント)
完全失業者	256	-24	-	-
3か月未満	106	-7	42.1	1.2
3～6か月未満	36	-4	14.3	-0.2
6か月～1年未満	33	-1	13.1	0.8
1年以上	77	-12	30.6	-1.6

図5 失業期間別完全失業者の対前年同期増減



### 2 仕事につけない理由

完全失業者について、仕事につけない理由別にみると、「求人との年齢と自分の年齢とがあわない」(46万人)は、前年同期に比べ7万人の減少、「勤務時間・休日などが希望とあわない」(23万人)及び「希望する種類・内容の仕事がない」(81万人)は、それぞれ5万人の減少となった。

表3 仕事につけない理由別完全失業者

	実数(万人,%)						対前年同期増減(万人,ポイント)						
	平成18年				平成19年		平成18年				平成19年		
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	
<b>実数</b>													
総数	286	280	273	261	272	256	-19	-19	-13	-26	-14	-24	
賃金・給料が希望とあわない	24	21	20	19	24	21	3	4	0	-2	0	0	
勤務時間・休日などが希望とあわない	26	28	24	25	27	23	0	-3	-6	2	1	-5	
求人との年齢と自分の年齢とがあわない	54	53	48	52	51	46	-6	-10	-13	-5	-3	-7	
自分の技術や技能が求人要件に満たない	17	18	17	19	15	16	-7	-2	2	-3	-2	-2	
希望する種類・内容の仕事がない	92	86	88	78	82	81	-2	-3	-5	-11	-10	-5	
条件にこだわらないが仕事がない	21	20	24	21	21	20	-5	-9	3	2	0	0	
その他	50	50	51	45	47	46	-3	1	9	-9	-3	-4	
<b>割合</b>													
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
賃金・給料が希望とあわない	8.5	7.6	7.4	7.3	9.0	8.3	1.6	1.9	0.3	-0.1	0.5	0.7	
勤務時間・休日などが希望とあわない	9.2	10.1	8.8	9.7	10.1	9.1	0.6	-0.3	-1.8	1.6	0.9	-1.0	
求人との年齢と自分の年齢とがあわない	19.0	19.2	17.6	20.1	19.1	18.2	-0.7	-1.9	-4.0	0.1	0.1	-1.0	
自分の技術や技能が求人要件に満たない	6.0	6.5	6.3	7.3	5.6	6.3	-1.9	-0.2	1.0	-0.4	-0.4	-0.2	
希望する種類・内容の仕事がない	32.4	31.2	32.4	30.1	30.7	32.0	1.5	1.3	-0.6	-1.1	-1.7	0.8	
条件にこだわらないが仕事がない	7.4	7.2	8.8	8.1	7.9	7.9	-1.2	-2.5	1.4	1.4	0.5	0.7	
その他	17.6	18.1	18.8	17.4	17.6	18.2	0.2	1.7	3.9	-1.5	0.0	0.1	

(注) 割合は、内訳の合計に対するものである。

[非労働力人口]

非労働力人口は4294万人と、前年同期に比べ13万人の減少となった。このうち、就業希望者（就業を希望しているものの、求職活動をしていない者）は455万人、就業非希望者は3759万人となっており、それぞれ26万人の減少、8万人の増加となった。

就業希望者を非求職理由別にみると、「適当な仕事がありそうにない」（146万人）は、前年同期に比べ16万人の減少、「家事・育児のため仕事が続けられそうにない」（122万人）は、2万人の減少となった。

図6 就業希望の有無別非労働力人口の対前年同期増減

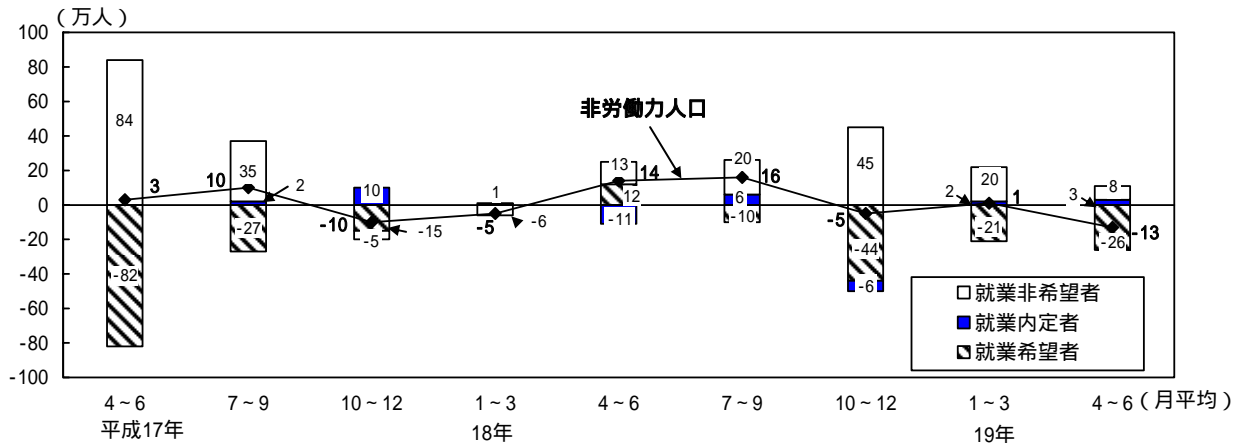


表4 就業希望の有無，非求職理由（詳細区分）別非労働力人口

平成19年4~6月平均	実数 (万人)			対前年同期増減 (万人)		
	男女計	男	女	男女計	男	女
非労働力人口	4294	1397	2897	-13	-1	-12
就業希望者	455	121	335	-26	-3	-22
適当な仕事がありそうにない (以下5項目の合計)	(146)	(37)	(109)	(-16)	(-8)	(-8)
近くに仕事がありそうにない	30	7	22	-3	0	-4
自分の知識・能力にあう仕事がありそうにない	21	8	13	-1	-3	2
勤務時間・賃金などが希望にあう仕事がありそうにない	57	7	50	-12	-5	-6
今の景気や季節では仕事がありそうにない	6	3	4	-2	-1	0
その他適当な仕事がありそうにない	32	12	20	1	1	1
家事・育児のため仕事が続けられそうにない	122	1	121	-2	1	-3
健康上の理由	58	23	35	-3	-1	-2
その他	115	53	62	-2	6	-8
就業内定者	77	38	40	3	2	2
就業非希望者	3759	1237	2522	8	-1	9

また、「適当な仕事がありそうにない」のうち「仕事があればすぐつける」は54万人、このうち「過去1年間に求職活動あり」は34万人となっており、前年同期に比べ、それぞれ9万人、6万人の減少となった。

図7 就業希望の非労働力人口

